

無収縮ポリマーセメントグラウト リフレグラウト-P

東・中・西日本高速道路(株) 構造物施工管理要領 打込み用断面修復規格適合品

無収縮ポリマーセメントグラウト リフレグラウト-Pの特長

1. 簡便性
粉末ポリマーをプレミックスしており、現場で水と練り混ぜるだけで品質の安定した無収縮ポリマーセメントを得られます。
2. 高塩化物浸透抵抗性
一般に使用されているコンクリート構造物に比べ格段に高い遮塩性を示します。
3. 耐ひび割れ性
一般に使用されている無収縮モルタルに比べて、乾燥による収縮量が小さい為大断面における使用に優れています。
4. 高流動性
材料分離やブリーディングを生じず、良好な流動性を有しており、ポンプ圧送が可能です。

リフレグラウト-Pの 施工要領概要

前準備

- 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- 混練機：ハンドミキサ・グラウトミキサ等の高速回転型をご用意下さい。手練りによる混練はできませんのでご注意下さい。
アルミ製の羽根、容器は使用しないで下さい。
- その他：必要に応じ、モルタルポンプ・計量器・バケツ・コテ等。
- 清掃：打設箇所表面のレイトランス・油分・塵芥等を除去し、必要に応じてチッピング・プライマ処理等を行って下さい。

施工

- 混練：混練は右図に従い、充分な攪拌を行って下さい。
- 注入：注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるように連続的に行います。また、パイプレータ等による振動締固めは不適切です。
- 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- 養生：表面を濡れた布等で被い、2～3日間は湿润状態を保って初期の乾燥を防いで下さい。寒中施工では保温養生等により初期凍害を防止して下さい。

保管

- 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにして下さい。
- 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気等からなるべく遮断して下さい。

リフレグラウト-Pとは…

大断面修復用無収縮グラウト『リフレグラウト』に、高機能性特殊粉末樹脂をプレミックスしたタイプで、『リフレグラウト』の持つ高流動性・低発熱性・低収縮性等の基本物性はそのままに、ポリマーセメントグラウトの特徴である塩化物浸透抵抗性・接着性等の性能の向上を図る事が可能となったグラウトです。



荷姿：
25kg紙袋入り

本製品は粉末ポリマー調合済みのプレミクス品です。
水を加えて練り混ぜるだけで所定の性能が得られます。

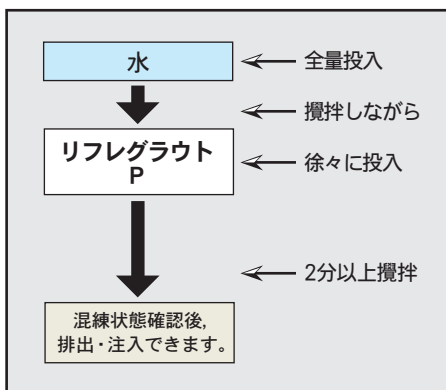
荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		リフレグラウト P	水	
示方	12.8～14.4	2000(80袋)	256～288	1000
袋		25(1袋)	3.2～3.6	約12.5

注) 気温等により水量は変化しますので、必ず試し練りを行い、水量を決定して下さい。

混練手順

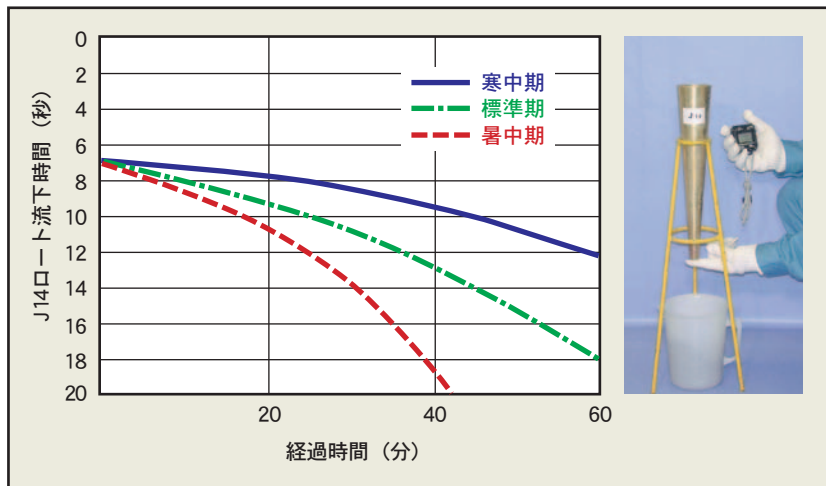


混練状況

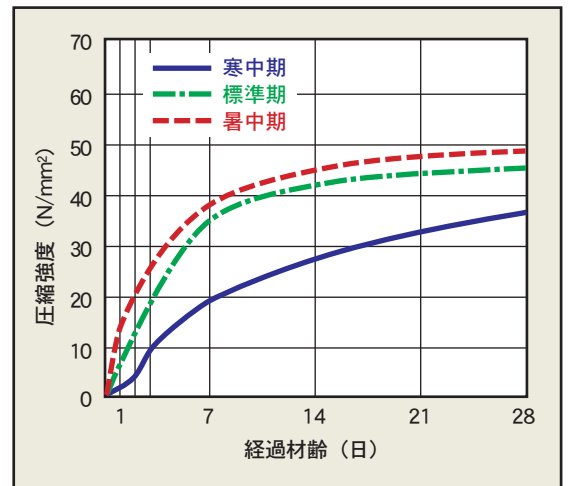


リフレグアウト-Pの性能一例

流動性の測定例



圧縮強度の測定例



施工前



施工後

東・中・西高速道路会社 構造物施工管理要領(平成18年10月)に基づいた性能照査結果

試験項目		試験方法	基準値	試験結果
断面の修復に要する性能	ひび割れ抵抗性	JHS432	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと	ひび割れは発生せず
	コンクリートとの付着性		コンクリートと断面修復材との付着強度は、1.5N/mm ² 以上であること	平均値 2.3N/mm ² 以上
	鉄筋背面への充填性		有害な空隙がないこと	有害な空隙なし 空隙の合計長 0.0mm
	グラウトモルタルの流動性	JSCE-F521	20~75 (S)	Pポート平均値 70秒 J14ポート平均値 7.8秒
	グラウトモルタルのブリージング	JSCE-F522	0.0~1.0 (%)	0.00%
	グラウトモルタルの膨張率		0.0~5.0 (%)	1.30%
	乾燥収縮性	JISA1129	5×10 ⁻⁴ 以下(3ヶ月)	3.1×10 ⁻⁴
	熱膨張性	JHS432	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 ⁻⁵ /°C以下であること	1.3×10 ⁻⁵ /°C
耐久性に関わる性能	中性化抵抗性	JHS432	補修設計で定めた中性化速度係数と同等	1.18mm [√] /週
	凍結融解抵抗性		負荷後の相対動弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上	相対動弾性係数平均値 94.0% 質量変化率平均値 -0.1% 付着強度平均値 2.2N/mm ²
	遮塩性		補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等	3.92cm ² /年
力学的性能	圧縮強度	JSCE-G522	補修設計で定めた設計基準強度以上	49.4N/mm ² 静弾性係数26.1KN/mm ²

※社団法人 日本建設機械化協会 施工技術総合研究所にて測定した物性値。
※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は